**第４学年国語科学習指導案**　　　　４年１組　２９名　　授業者

校内研究主題：意欲的に学び、よく考え表現する子供の育成

～書く力を育てる指導を通して～

中学年の目指す児童像

「自分から進んで表現する児童」

１　単元名「わたしの研究レポート」

２　単元の目標

◎書くことを決めて必要な事柄を調べ、調べて分かったことを明確にして文章を書くことができる。

〇書いたものを読み返し、必要に応じて修正することができる。

○表現したり理解したりするために必要な語句について辞書を利用して調べることができる。

３　観点別評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 国語への関心・  意欲・態度 | 書くこと | 言語についての  知識・理解・技能 |
| ・自ら進んで調べて、調べたことや考えたことを書こうとしている。 | ・調べたいことを決め、必要に応じて情報を集めている。  ・本で調べたことを必要に応じて引用したり、要約したりしている。  ・敬体と常体の違いに注意しながら書いている。  ・書いたものを読み返し、必要に応じて、よりよい表現や適切な表現に改めている。 | ・辞書を活用して、適切な言葉を用いている。 |

４　研究主題に迫るための手だて

（１）単元について

　　本教材は、調査報告書のうち、【文献調査】による報告書を書く基本的な力をつけさせるための単元である。本単元では、児童が主体的に学習に取り組めるよう、生活の中から「問い」（もっと知りたいこと）を見つけ、本を使って調べて、報告書を書くという言語活動を設定している。ここで学習する、課題設定（調査内容の決定）→取材（文献調査・情報の読み取りと整理）→構成（報告書の型の確認）→記述・構成（報告書の記述・推敲）という流れを、他教科の調べ学習にも活用させていきたい。

（２）授業づくりの手だて

○意欲を高める（主体的な学び）

・興味のあることを「問い」（調べるテーマ）にすることで、主体的に学習に取り組めるようにする。

・報告書を書く相手、目的を児童が決めることで、主体的に学習に取り組めるようにする。

　○思考を深める（深い学び）

　・調べた内容に対しての感想を毎回書き留めておくことで、「終わり」に書く自分の考えをもてるようにする。

　・毎授業の振り返りの視点に、「比べる」「つなげる」「広げる」の３つのキーワードを提示することで、「終わ

り」に書く自分の考えをもてるようにする。

　○知識・技能の習得（確かな学び）

　・「問い」を常に意識できるようなワークシートにすることで、調べ学習が「問い」から逸れないようにする。

また、その都度、一人一人の進捗状況を把握しておくことで、個別に指導ができるようにする。

　・メモから必要な情報を選ぶ活動をする前に、モデル教材でその過程を確かめることで、一人一人が構成を考えられるようにする。

５　指導計画　（○学習活動　※授業づくりの手だて）

課題設定　第１時

〇生活の中で疑問に思ったことを話し合い、「生活の中から生まれた問いについて、本で調べてほうこく書を書こう」という学習課題を立て、学習の見通しをもつ。

○学習計画を立てる。

取材　第２～７時

〇生活の中で不思議に思った事柄を話し合い、「問い」「調べること」を決める。

※「問い」の答えに辿り着くまでに必要な「調べること」を書き出すことで、見通しをもって調べられるようにする。

〇調べたいことを事典や図鑑などの本から探して読み、報告書に書くことを集める。

※「問い」の答えに必要な要素（仕組み、成り立ち、理由、性質、特徴など）を考えることで、「問い」に合った情報が集められているか確認する。

構成　第８時（本時）

○モデルを参考に、調べたことを整理し、構成を考える。

・情報カードの整理の手順をモデルで示すことで、一人一人が自分の「問い」に対する情報を選べるようにする。

記述　第９～１２時

○報告書を書くときのポイントを意識して、下書きを書く。

・情報カードを元に文を書くモデルを示すことで、必要な情報を入れた文章を書けるようにする。

推敲　第１３・１４時

〇友達と下書きを読み合って、気付いたことを伝え合う。

○報告書を読み返し、友達の意見を生かして、よりよい文章に仕上げる。

交流　第１５時

〇完成した報告書を友達と読み合い、感想を伝える。

〇書いたものを印刷して、学校図書館に置き、読んでもらう。

６　本時について

○本時の目標

・調べたことを整理し、まとまりごとに分けて、構成をすることができる。

○本時の展開

|  |  |
| --- | --- |
| ○学習活動 | ◇指導上の留意点　☆評価　◎研究主題に迫るための手だて |
| ○前時の振り返り、本時を確認する。  ○情報カードの整理の手順を確かめる。  ○自分の情報カードを整理し、書く内容を決める。  ○構成メモに書き出す。  ○学習の振り返りをする。 | ＜めあて＞調べたことを整理して、構成を考えよう。  ◎情報カードの整理の手順をモデルで示すことで、一人一人が自分の「問い」に対する情報を選べるようにする。  ・同じような内容のカードをまとめる。  ・「問い」に合った内容を選ぶ。  ・選んだカードに小見出しをつける。  ・伝える順番を決める。  ◇まとめることに困っている児童には、「問いカード」の「調べること」の項目を参考に分けてみるように声をかける。  ◇『「問い」に合った内容』として、「問い」の答えにあたるものや、「問い」の答えに関係するものを選べるようにする。  ◇整理した情報カードは、まとまりごとにクリップにまとめ、小見出しを書いた付箋を貼るようにする。  ◇小見出し（内容の要約）を箇条書きにした構成メモのモデルを提示する。  ◇構成メモが出来上がった児童には、情報カードの中でも特に伝えたいことに赤線を引くように声をかける。 |